



May 2011



# Afghan News

## 最新のニュース

### 注目すべき数値

・アフガニスタン国民の59%が、自国はよい方向に向かっていると考えています。

・アフガニスタン国民の63%が、現在の状態は5年前よりも改善されていると感じています。

・本年、アフガニスタンの就学児童数は800万人を越える見込みです。



## イスタンブールで開催された国連会議でカルザイ大統領が演説

### イスタンブールで開催された国連会議でカルザイ大統領が演説

ハーミド・カルザイ大統領が、後発開発途上国であるトルコのイスタンブールで開催された第四回国連会議に出席した。117カ国と25の国際組織の代表が3日間の同会議に参加し、貧困・飢餓・病気・脆弱な経済基盤・能力開発・リテラシー等の発展途上国に関わる問題について協議した。ここで最終的に、これらの問題解決を目標とする国際協力計画の方針が採択された。

カルザイ大統領は演説で、この計画を通して様々な課題に取り組む中で、国際協

力が新次元へと進化することを望むと述べた。また、アフガニスタンが直面する具体的課題及び貿易やエネルギー計画分野での地域的協力を増加させる国家政策についても言及した。

### カルザイ大統領が郡開発議会の国内会議で参加者を激励

第一回郡開発議会の国内会議が、4月30日から2日間に渡って国民会議場の公会堂で開催された。

初日は、Mohammad Karim Khalili第二副大統領、Abdul Hadi Arghandiwal経済省大臣、議会議員、郡開発議会代表750

(Continued on page 2)

### 今号のコンテンツ

最新のニュース Pg.1-3

Evgeny Latypov  
氏インタビュー Pg. 4

今月のレシピ Pg. 5

名、国連、国際治安支援部隊等が参加した。  
地方復興開発省と新設された郡開発議会の開発プログラムについて協議がなされた。

また、イスラムの教えを酌んだ地方開発に関する問題についても話し合われた。同会議は、郡開発議会により出された8項目の決議案が満場一致で可決されて幕を閉じた。

5月2日に参加者の一部と会談する機会を持ったカルザイ大統領は、同会議により、アフガニスタンのインフラ整備においてかなりの進歩が期待できると述べた。

## 在日アフガニスタン大使ファティミ大使、被災者を支援

大使 Sayed M. Amin Fatimie 博士に  
従い、アフガニスタンイスラム共和国大使館の関係者と日本のアフガン



住民の代表団が福島県からの被災者を支援するべく5月20日に茨城県つくば市を訪問した。

ここでは新しい住宅用の家具セットが供給された。費用の1841000円は日本在住のアフガン市民の寄付で賄われた。代表団は、つくば市長の市原健一と茨城県知事の橋本昌と会談した。その際、お二方とも今回のサポートへ感謝の意を表明した。代表団は順番に、アフガニスタンの開発、日本の永続的なサポートに感謝の意を表明し、両国の国民の間の連帯を強調した。

(全文はお手数ではありますが、大使館のホームページを参照してくだ

さい：[www.afghanembassy.jp.org/en/embassy/?pn=404](http://www.afghanembassy.jp.org/en/embassy/?pn=404)

## 子どもの権利会議の開催

5月4日に法務省主催の一日会議にてフォローアップ児童の権利に関する国連委員会の勧告の実施を採択した。このイベントは、共同人権外務省、ユニセフ、およびUNDP省の女性の国際事務局が主催しは、カナダ、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、英国、スイス開発の大使館がこれを支持している。

アフガニスタンは1994年、子どもの権利に批准し、2011年2月4日、国連委員会権 (CRC) の条約をアフガニスタンの最終見解として採択した。

法務省の人権支援ユニットは、プレゼンテーションにて、子供たちをサポートするための政府による当面のアクションを示した。ユニットは今後の取り組みを満たすためのいくつかの行動計画を起草するつもりだ。

## カブールで祝われる国際助産師の日

5月3日、保健省 (Moph) は、助産師協会と米国国際開発庁 (USAID) と連携し、国際助産師の日を記念してカブールでの式典を開催しました。これは、アフガニスタンでの母体と助産サービスの成功を祝うものである。

今年の国際助産師デーのテーマは“世界は今まで以上に助産師を必要とする”である。

出生時に助産師の存在は、妊産婦死亡率を減らすのに最も影響する唯一



の要因であると言われているだけでなく、大幅に生存の赤ちゃんの生存率を向上させると言われている。アフガニスタンのミレニアム開発目標では、2014年までに50%妊産婦死亡率を減らすことになっている。したがって、保健省は、特に地方や農村で出生時の訓練を受けた熟練した助産師の数を増加している。

## インター・ニュースはより一層の支援をジャーナリストへ MoICとの協定

この協定は7州に印刷社を設立させるためにインター・ニュースのメディアサポートグループである Temur Shah Ishaqzai 氏と Charmaine Anderson 氏により決議された。現在16州が主催している青年学生祭よりさらに州を増やすことも目的としている。そうすることで画報、活字、オーディオビジュアルメディアによって国家レベルで青年学生祭を組織していくことになり、結果として若いジャーナリストたちを本格的に訓練し協議させる場を確立することにもなるのである。

## 教育の進歩が全国的に続く

5月7日に、5つの新しい施設が Panjsheer で新たに開かれた。行政と会計の施設、Ahmad Shah Masoud 職業技術学校、Sara judeen 学校、Dara Doab 学校と、ドイツの支援によって建てられた Dara 女学校である。

12クラスある小学校は5月18日、Helmand州にデンマーク支援の下新しく開かれる。

5月中旬には8つの学校が Zabul 州の3つの地区 Shah-i-Safa、Seyoroy と Shahjoy の年長者との協力によって再び開かれる。

## 全国的に開発が続く

アサダーバード裁判所の新たな3階

(Continued on page 3)



建ての裁判所の建物が米国の支援を受け、16ヵ月後にクナル州に完成した。その建物は、30の管理室、会議室、3つのキッチンがある。パンジシール州では、新しい16室の校舎がアナバ地区のファライ地域の高校に建てられた。

118ものソーラーライトが、米国の支援を受けて、Sheikh Zahid大学と、ユースト市内の道端に取り付けられた。

南部ガズニ州における2つの40メートルの橋の建設工事は、知事のMusa Khan Akbarzada氏とガズニ市長のSayed Abdul Basir氏により開始された。

## 直行便の提携国の増加

発展の継続、ビジネス機会の増加、絶えず安全な状態であることから、直行便同意に契約する国の数が増えし続けています。

今月、副運輸航空大臣Sayed Mehdi Sayediとバーレーンの航空総務次官Abdulrahman Mohammed Al-Qaoudはバーレーンとアフガニスタンの間の直行便を確立するための契約を締結しました。契約では、毎週8つの旅客便に加え貨物便を要求している。

直行便は現在、バーレーン、イラン、インド、英国、アラブ首長国連邦アフガニスタンから利用できる。現在、アフガニスタンでは、カブル国際空港 (KBL) とカンダハル国際空港 (KDH) の2つの国際空港がある。

## 議会が新たな建物を取得

国民議会は早くとも2011年末には新たな青銅ドーム型の建物で始動す

## Fatimie大使がthe United Nations Institute for Training and Research's (UNITAR's)の広島支部のヘッドであるAlex Mejia氏と青年代表を大使館に招いた

2011年5月18日、Fatimie大使はthe United Nations Institute for Training and Research's (UNITAR's)の広島支部長のAlex Mejia氏、青年代表のYuri Kakeuchi氏とTaiju Sasaki氏を大使館に招いた。UNITARからはKaori Okabe氏、大使館からは広報活動職員のJason Pratt氏、そしてMiho Ishiwataが出席した。

UNITARの青年代表計画は広島若者から未来の外交リーダーを育て



ていこうというものである。二人の代表者は、100もの立候補者の平和における外交の重要性という題材のエッセイコンテストの中から選ばれた。UNITARは外交に関わるいくつかの典型を彼らに紹介し、そして彼らが将来的にその領域をさらによく理解できるよう奨励した。

Fatimie大使はその計画と、二人の代表が抱く日本とアフガニスタン、国際連合の架け橋になりたいというそのポテンシャルを褒め称えた。大使はさらにアフガニスタンを支えるUNITARの仕事をしているMejia氏に感謝の気持ちを伝えた。特に生産能力の開発に対して、1979年後半から始まったアフガニスタン侵略と共に激減した人的資源の改善の重要性を引用してくれたことなど。Mejia氏の国に對

する個人的な献身にもとても感謝していた。

Mejia氏はホストを務めた大使館に感謝を示し、そして青年代表がアフガニスタンの学生たちのために計画したそれと同じようなものを将来UNITARが取り組んでくれることを願った。また、彼はアフガニスタン役員たちのための生産能力開発というUNITAR最新の親交プログラムが、トレイナープログラムを卒業した最初の5人のアフガニスタン人によって昨日開始されたことを伝えた。

## 新たな裁判官の学位を得た140人もの受領者



約140人の新しい裁判官は、法学部やイスラームの科学部、マドラサを卒業し、アフガニスタン司法研修プログラムの下で終え、5月17日に学位を授与されている。卒業生の女性裁判官の多くは、全国規模で働くこととなるだろう。

## 飲料生産工場が操業を開始

Pul-i-Khomri市にあるKheyam飲料生産工場は5月18日に発足した。その工場では、1日にコカコーラ、ファンタ、スプライトのペットボトル700本とその半分の量の小さいペットボトルを生産することができる。

非常に安全な環境下に建てられたこの工場は、多くの地元の人々に雇用を提供するつもりだ。5月11日から15日にかけて行われたウクライナの世界キックボクシング選手権大会で、アフガニスタン

## アフガニスタン、世界キックボクシング選手権大会でメダル15枚獲得、エブゲニー・ラティポフとのインタビュー

エブゲニー・ラティポフは、ヨーロッパボディービルディング界の元チャンピオンである。現在は、世界フィットネス・ボディービル連盟の日本とアフガニスタンの代表を務めている。

### なぜ、アフガニスタンに興味を持つようになったのですか？

自国ロシアの歴史を学ぶうちに、アフガニスタンに興味を持つようになりました。冷戦中、アフガニスタンは、ソ連とアメリカが権力闘争を繰り広げた舞台でした。アフガニスタンは、二大国間の政治的相違による代償を払わなければなりません。これについては、アフガニスタン史の中に埋もれて、はっきりとした説明がなされていないことを知りました。しかし、それと同時にアフガニスタンには、文化・伝統・価値観など多くの素晴らしい魅力があることも知りました。その時から、私のアフガニスタンに対する興味はますます大きくなっていきました。

### アフガニスタンで、ボディービルディング競技会を開こうと決断した理由を教えてください。

私は、2010年4月にアフガニスタンへ行きました。そこで、ボディービルディングに夢中になっている多くの人々に出会いました。この競技は、人々の間でとても人気がありますが、多くのボディービルダーたちが、非常に限られたサプリメントとトレーニング器具で活動していることに衝撃を受けました。アフガニスタンで、フィットネスやボディービルディングが未だに国際組織によって承認されていないこともショックでした。私自身ボディービルダーであり、ボディービルディングのサポーターでもあります。身体の健康と精神の健康こそが、ボディービルディングの目指すところです。現代社会において、ボディービルディングはこの本来の意義を失いつつあり、精神の健

康が重要視されなくなっています。私の目標は、アフガニスタンの人々が、現代の傾向に流される前に、本来の意義に忠実で純粋なボディービルディングをこの国に導入することです。そして、アフガニスタンのボディービルディングを世界的にも促進していきたいと思いません。アフガニスタンの選手たちは、世界チャンピオンシップに参加できるだけの準備が既にできています。純粋なボディービルディングの型を促進し、アフガニスタンでこの競技が認知を得るために、アフガニスタンで最初の国際競技会を開くことを決めました。

### その競技会について詳しく教えてください。また、アフガニスタンの人々にとってどんな影響があると思いますか。

競技会のタイトルは、「アフガン・パワー」です。これは、二日間のイベントで、国内選手だけでなく、既に参加を表明した海外の選手も競技会に出場します。できるだけ多くの選手が参加できるように、この競技会は「フィット・キッズ」、「身体障害者」などの8つの異なるカテゴリーに分けられます。私は、この競技会を毎年開催する計画を立てています。2012年には、「女性」も1つのカテゴリーとして増やしたいと思っています。この競技会は、子供や十代の若者がスポーツ競技に参加し、自信を持ち、将来への夢を抱けるような安全で充実した環境を提供します。この国は、驚くほど多くの戦争障害者を抱えています。彼らには、この競技を通して、日常生活で直面する困難に正面から向き合い、それらを乗り越えられるだけの自信を培ってほしいです。そして、この国全体が、活性化して元気になることを願います。競技の外では、我々のサポートやある特定のグループへの帰属意識により、全ての参加者が精神の健康を高めることができると思います。

### 私たちにできることはありますか。

これは確かに難しいプロジェクトですが、それだからこそ私たちが支援する必要があるアフガニスタンの

人々に十分プラスになることができると思うのです。私たちは、イベントを準備するための寄付・ボランティア・スポンサー・協力者など可能な限りの助けを必要としています。

### あなた方をサポートすることで、スポンサーにはどのような利益があると思いますか？

スポンサーは、広く公に認知される格好の機会を得ることができると思います。アフガン・パワー競技会は、世界的に認知され、毎年慣例にアフガニスタンのカブールで行われる世界規模のイベントを目指して拡大しつつあります。アフガン・パワー競技会は、既に世界フィットネス・ボディービル連盟よりサポートを受けています。この連盟には、100カ国の何十万という会員選手が所属しています。この世界的なネットワークにより、異なる文化・価値観・思想が繋がりを持ち、ビジネスチャンスが開けるといえます。アフガン・パワー競技会は、駐日アフガニスタン大使館、白鳥晴弘さん、LTD Business Bankによって支援されています。また、アフガン・パワー競技会は、世界フィットネス・ボディービル連盟・BBC・France News・チャンネル1（アフガニスタン国営放送局）が支援する最初の国際フィットネス・ボディービルディング競技会であり、国内の新聞社もこのイベントを報じるために招待されます。当競技会の大変高い認知度と、熱心な支持者層、そして各メディアの報道も相まって、競技会のスポンサーは十分な利益を享受しているといえます。また、アフガン・パワー競技会のスポンサーは、世界フィットネス・ボディービル連盟の持つさまざまな人脈、例えば、世界をリードする各団体・企業の役員、俳優、政治家などの結びつきを得ることができず。スポンサーとなる企業および個人の名前は、教育支援、発展途上国開発、平和維持活動、秩序形成といった活動の良いイメージと関連付けられることとなります。当イベントに関する詳細は下記URLをご参照ください。

## Abdul Rauf Lugaliのキッチン

「Baba-jan（またはおじ）」と愛称で呼ばれる大使館シェフが、毎月あなたに彼の台所からみなさんのご家庭にアフガンのレシピを提供します。今月は、伝統的な前菜、Osh Pyozee（玉ねぎを詰め）を特集します。



### 材料（6人分）

#### たまねぎ

- 皮を剥いた大きなたまねぎ（約1/4ポンドずつ）2個
- 水4カップ
- 塩小さじ1杯

#### 詰め物

- 牛ひき肉1/2ポンド
- 生米小さじ3杯を非常に柔らかくなるまで調理し、乾燥させ、すりつぶす
- 塩小さじ1杯
- コショウ1/4杯
- クミンパウダーシード1/4杯
- 種を取り除いたプルーン10粒は、縦に半分カット
- コーン油大さじ2杯

### 調理方法

玉ねぎ:1. 各玉ねぎの側面に1/2インチの深い切込みを入れる。水に塩を入れ、中火で沸騰させ、玉ねぎを入れます。スロットスプーンでそれらを回しながら2分間ゆでる。玉ねぎを取り出し、芯に到達するまで皮をはがす。玉ねぎの皮と芯は脇においておく。

詰め物:2. 牛肉をボウルに入れて米、塩、コショウ、クミンシードとよく混ぜる。

手順:3. 牛肉を混ぜたものを山盛り小さじ1と、半分になったプルーンを1つとり、調理済みの玉ねぎの皮で巻き上げる。この手順を繰り返して、すべての玉ねぎ皮が詰め物包まれるまでこれを繰り返して下さい。

4. フライパンに油をひき、玉ねぎと芯を並べ、弱火で少し焼き色が付くまで2時間ほど温める。焦がさないように注意してください。

温かいうちにお召し上がり下さい。

106-0041 東京都港区麻布台2-2-1  
在日本国アフガニスタン大使館

#### Domestic

Tel: 03-5574-7611

Fax: 03-5574-0195

#### Website

www.afghanembassyjp.org



#### Contact Us

当大使館のニュースレターに関するご意見、ご質問等ございましたら、大使館広報部 Jason Pratt宛に電子メールにてご連絡下さい。

pratt@afghanembassyjp.org